

山地で遭難、食わずに1週間 救助の72歳、体験語る



「今日で終わり」と思い、毎朝撮った自分の写真を示す小林計夫さん＝16日午前、神奈川県相模原市緑区

【山元一郎】神奈川県相模原市緑区の丹沢の沢に、千葉県我孫子市のパート警備員小林計夫（かずお）さん（72）が転落、1週間後の15日夜に救助された。脱水症状があり入院したが、16日午前に病院で朝日新聞社の取材に応じた。「沢の水を飲むなどしてしのいだ。死を覚悟して毎朝、自分の写真をカメラに収めた」と語った。

小林さんは8日、日本の滝100選にもなっている「早戸大滝」の写真を撮るために入山。正午前に撮影した後、30メートル下の沢に転落し、左足を痛めて動けなくなった。おにぎりは食べ終えており、沢の水や自分のおしっこを飲み、枯れ葉を集めて寒さをしのいだ。

10日から11日には雨が降ったため、衣服は「川の中にいるようにずぶぬれになった」。もう助からないと思い、「（亡くなった）おふくろの名を呼んだ」。それ以降はほとんど動けなくなり、毎朝、「今日で終わりだ」と思って自分の写真をカメラで撮ったという。



かわろう。

たった500円で、世界が変わるゾ。

さあ、朝日新聞デジタルへ。→



[PR] 顧客のSNS上の情報も逃さずにキャッチし、営業力アップ！

[PR] 平成26年1月からすべての個人事業者に記帳義務が拡大されます～政府広報

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。